

一迫商業高等学校

校訓 誠実 自律 奉仕



1 基本データ

創立：昭和48年
課程・学科：全日制課程・流通経済科、情報処理科
生徒数：174名
所在地：〒987-2308
栗原市一迫真城字町東133
TEL：0228-52-4112
FAX：0228-52-4111

ホームページアドレス：
<http://ichisho.myswan.ne.jp>
電子メールアドレス：
chief@ichisho.myswan.ne.jp
主な交通機関：
栗原市民バス 花山線一迫商業高校前

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

一商で夢を叶えよう！

小規模校の特性を生かし、教職員・生徒が一体となって勉学、資格取得、部活動に励んでいます。近年、全国商業高等学校協会主催の検定試験では、1級3種目以上取得者が県内トップクラスです。これらの資格取得が進路実現に大きな役割を果たしています。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

大正13年3月、一迫町立一迫実科高等女学校として開校し、その後一迫高等女学校、宮城県泉館高等学校一迫分校となり、昭和48年4月、県北唯一の商業高校として独立開校。平成6年度、専門性を高めるために学科改編をおこない、流通経済科、会計科、情報処理科の3学科(男女共学、学科別募集、推薦入学制有り)でスタートしましたが、少子化の影響で会計科の募集を停止し、平成23年度から流通経済科、情報処理科の2学科でスタートしました。

平成23年度入学生からは流通経済科も簿記1級を取得できるように教育課程を編成し、次代を見据えた教育内容を展開しています。県北唯一の公立商業高校として、地域社会の人々の期待を担いながら、産業経済の振興発展に寄与する有為な人材の育成を目指しています。

(2) 設置学科等

(過去3年間の学科コース別・前後期選抜別の出願者数・合格者数)

<前期選抜>

		H27	H26	H25
流通経済科	出願者数	16	9	9
	合格者数	16	9	8
情報処理科	出願者数	5	10	12
	合格者数	5	10	12

<後期選抜>

		H27	H26	H25
流通経済科	出願者数	15	22	18
	合格者数	15	20	17
情報処理科	出願者数	22	26	21
	合格者数	21	26	21

(3) 教育方針

「誠実・自律・奉仕」を校訓に、新しい時代における産業経済社会を担う者として欠かすことの出来ない教養・知識・技術を十分に身に付け、更に強靱な身体と不屈の意志を育てることを目標にしています。

また、地域に愛され、地域に信頼され、地域になくってはならない学校を目指し、校訓「誠実・自律・奉仕」の精神を身につけ、地域社会を担うことのできる有為な人材を、商業教育を通して育成しています。

(4) 教育課程の特徴

<流通経済科>

流通業界等の仕事に役立つ基本的な知識・技術について流通経済関係科目を通して学習します。さらに商業全般を学習し、将来の就職の際にも役立つ接遇・マナー等を身につけた商業人の育成を目指しています。また、教科履修を通じて、各種検定資格の取得ができます。

<情報処理科>

情報処理関係科目の履修時間を多くし、コンピュータ、ワープロ等の学習を通して、システムエンジニア、プログラマー等の情報処理技術を身に付け、中堅情報処理技術者の育成を目指しています。また、教科履修を通じて、各種検定資格の取得ができます。特に、情報処理、ワープロ等の情報処理関係の資格取得を目指しています。

(5) 行事・生徒会活動・部活動

運動部では、硬式野球部が第77回選抜高校野球大会に出場し、1回戦突破という実績を持っています。また、弓道部はインターハイに出場した事もあります。

女子剣道部は今年度地区総体で優勝し3連覇を達成しました。また、ワープロ部が平成26年県大会3位となり、3年連続東北大会出場を果たし、個人においても県大会2位で全国大会に出場しました。商業研究部は平成26年2位となり、2年連続東北大会に出場するなど活発に活動しています。

生徒会活動も活発で、文化祭、球技大会等の諸行事の企画運営はもちろん、朝の挨拶運動、学校周辺のゴミ拾い、道路の花壇の整備、地域の独居老人宅への配食サービスなど、ボランティア活動にも積極的に取り組み、地域に根ざした学校づくりを目指しています。

(6) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	H26	H25	H24
大学	9	3	6
短期大学	2	2	2
専各学校	13	11	21
就職(県内)	41	41	43
就職(県外)	6	6	6
その他	0	0	0
卒業生計	71	63	78

主な進路先(平成27年3月卒業生)

()内は人数 (1)は省略

<大学>

東北学院大学・石巻専修大学(4)・東北工業大学・札幌大学・ノースアジア大学・千葉商科大学

<短期大学>

仙台青葉短期大学・宮城誠真短期大学

<専修各種学校>

トヨタ東京自動車大学校・宮城県立仙台高等技術専門学校・一関准看護高等専修学校

(2)・宮城県立大崎高等技術専門学校・大崎医師会附属看護学校(2)・宮城県調理製菓専門学校(4)・仙台医療福祉専門学校

・宮城高等歯科衛生士学院・東京IT会計専門学校・仙台コミュニケーションアート専門学校・東北電子専門学校・JAPANサッカーカレッジ

<就職>

アイリスオーヤマ(株)・(株)東北フジバン・(株)築地寿司清・(有)ドリーム・クリエイト・(株)岩手日日新聞社・医療法人博愛会 一関病院・国際興業(株)・

アパホテル(株)・エコロ・プラント(株)・

(有)伊藤ハウジング・(株)新栄商事・大成エレクトロニクス(株)・東北部品

(株)・(株)タカギ・(有)エコテック・

菱成樹脂(株)・葵工業(株)(2)・(株)大平昆布・(株)菅原機工・(株)浦島・

南部屋印刷(株)・高橋精密工業(株)・農事組合法人 水鳥・(有)ひらの・伊藤

ハムディリー(株)・医療法人社団 玄成会 達内科小児科・(株)三亥・ヒロセ興産(株)・(株)業配(株)ハンサム仙台事業部

・ヤマセエレクトロニクス(株)・(株)AMCO・日東コーン(株)・医療法人社団 仁徳会(株)わかさ生活・医療法人財団姉齒松風会 石越病院・(有)ネット

ワーク宮城・ホテル亀屋(株)・ボード(株)・

(株)ウジエスーパー・(株)仙台三越・マルニ食品(株)・(株)札幌かに本家・(株)鳴子観光ホテル長者原サービスエリア

3 入試情報

(1) 募集定員

流通経済科 男女40名
 情報処理科 男女40名

(2) 前期選抜について

イ 学科別の募集割合等

流通経済科 定員の40%以内(16名以内)
 情報処理科 定員の40%以内(16名以内)

ロ 出願できる条件

《流通経済科》

流通業(販売・サービス)等に関する基礎的な知識や技術を身に付け、経済に関する資格取得を目指し、これらを生かした就職及び進学を希望している生徒を求めます。出願できる条件は、基本的な生活習慣が確立されており、次の1~5の条件のうち1つ以上を満たし、自己アピールできることとします。

- 1 学習活動に意欲的に取り組んでいる。
 - 2 生徒会活動において中心となって活動した。
 - 3 各種大会で県大会以上に出場し、活躍した。【調査書】
 - 4 ボランティア活動を積極的に取り組んだ。
 - 5 各種資格を取得している。【添付書類又は調査書】
- ◆3, 5は「資格確認の対象とする条件」である。

《情報処理科》

コンピュータに関する基礎的な知識や技術を身に付け、情報処理に関する資格取得を目指し、これらを生かした就職及び進学を希望している生徒を求めます。出願できる条件は、基本的な生活習慣が確立されており、次の1~5の条件のうち1つ以上を満たし、自己アピールできることとします。

- 1 学習活動に意欲的に取り組んでいる。
 - 2 生徒会活動において中心となって活動した。
 - 3 各種大会で県大会以上に出場し、活躍した。【調査書】
 - 4 ボランティア活動を積極的に取り組んだ。
 - 5 各種資格を取得している。【添付書類又は調査書】
- ◆3, 5は「資格確認の対象とする条件」である。

ハ 学力検査 各学科とも 国語、数学、英語 各100点

ニ 学校独自検査

各学科とも 個人面接(配点75点) 15分

(3) 後期選抜について

イ 学科別募集人数

流通経済科 24名(予定)
 情報処理科 24名(予定)

ロ 面接・実技の有無

各学科とも 個人面接

ハ 傾斜配点の有無

各学科とも なし

ニ 調査書点と学力検査点の比重

各学科とも 5:5

(4) 平成27年度転編入学試験について

(7月以降分)

日程	対象学年	試験科目等
7月~12月 随時	全学年	国・数・英・専門(商業)・面接
3月 随時	新2・3年	国・数・英・専門(商業)・面接

4 写真で見る学校生活



正門から見る校舎



制服



2日間の球技大会(クラス対抗で行われます)



石楠花祭(学校祭)



10月末に開催されます。



本校の目玉、デュアルシステムによる販売実習と起業家研究



我が校のPRポイント

小規模校の特性を生かし、家族的な雰囲気の中で教職員生徒が一体となって勉学に資格取得に、そして部活動に励んでいます。また、平成17年度に文部科学省の指定を受けた、栗原版デュアルシステムにも継続して取り組んでいます。流通経済科で、販売実習と起業家研究を行い、全学科対象の選択科目「企業実習」では約20日間の長期企業実習を行っています。今後とも地域の皆さんの支援をうけながら、なお一層の発展を目指しています。

平成26年度は、全国商業高等学校協会主催の検定試験において、県内初となる1級7種目取得者が2名、6種目取得者が3名、5種目取得者が2名、4種目取得者が5名、3種目取得者が5名出て、県内の商業高校の中でもトップクラスの取得状況です。授業のみならず、年間を通じた朝補習、検定前の放課後補習で教職員と生徒が一体となって努力している証です。

商業高校で身につけた専門的知識・技術や勤労観が社会から高く評価され専門技術や資格を生かし社会で活躍しています。商業高校は普通教科に加え商業の専門知識を生かす有利さもあります。

一昨年度からは近隣の中学校への出前授業を行なっています。商業について知る良い機会になると思いますので、是非ご活用下さい。